

事務事業評価シート

H26(標準事業)

① 基本事項	事業コード	19050-1	事業名	生涯学習フェスティバル開催費	部名	教育委員会事務局
	基本施策の大綱	04:生きがいを持てる福祉の展開	財	会計	一般会計	
	基本施策	01:生涯学習の推進	務	款	教育費	
	施策の方向	01:だれもが参加できる機会づくり	科	項	社会教育費	
	戦略プロジェクト		目	目	社会教育総務費	

② 目的・概要	対象	一般市民
	目的・概要	<p>亀山市立中央公民館などの受講生による作品展時、舞台発表の場、及び市民の学びのきっかけ作りの場として開催する。平成25年度より、これまでの2日開催から1日開催に縮小。(2月下旬土曜日の1日間、青少年研修センターで開催)</p>

			24年度	25年度	26年度	
③ 指標	① 活動	名称	体験コーナー設置数	計画値		
		補足		実績値	17	10
			単位	箇所	箇所	箇所
	② 活動	名称	参加団体数	計画値		
補足		舞台、展示、体験コーナー	実績値	41	37	28
		単位	団体	団体	団体	
① 成果	名称	来場者数	計画値			
	補足	当日の来場者数(H24年度は2日間)	実績値	800	700	1,200
		単位	人	人	人	

年度計画				年度実績							
④ 事業の計画・実績	<p>市制施行10周年記念事業として、新しい若い年齢層の参加を促すとともに、市が重点的に取り組んでいる家庭教育の充実を軸に据えて、子育て世代が積極的に参加できる「パパママフェスタ」として開催した。従来の公民館講座の成果発表とあわせて、「わくわくさん工作ショー」、親子で運動遊びや体験教室などのコーナーを設置したほか、市の家庭教育・子育てに関する情報を一同に発信するパネル展示・相談コーナーなど、公民館や健康福祉部、市内外の子育て団体等と連携しながら企画開催した。この結果予想を上回る1,200人の来場があった。</p>				総人件費	①	2,221	平均給与額×③			
					一般職員人件費	②	2,221				
					事業費	計画額	予算額	決算額	所要人員	③	0.30
					国庫支出金				臨時職員人件費	④	
					県支出金				受益者負担額	⑤	
					地方債				受益者負担率		0.0% ⑤ / ⑥
					その他		200	200			
					一般財源		1,400	1,227			
					再掲	翌年度への繰越額					
						前年度からの繰越額					
	総人件費		①	2,221							
	総コスト		⑥	3,648							

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	<p>初開催となった「パパママフェスタ」の実施については、教育委員会・公民館だけでなく、健康福祉部や市内の子育て関係団体との連携を一層深め協力し、横断的に開催したことで顔の見える横のつながりを構築することが出来た。亀山市婦人会連絡協議会や公民館講座受講生など祖父母世代、各地域で取り組んでいる子育て団体など多様な人々をイベントに取り込み交流を図ったことで、家庭教育の支援への取組みの広がりを感じた。</p>	総合判定
			A

⑤ 事業の評価	【反省点・課題】	<p>「家庭に子育て」をテーマとした施策に関して、市民に多くのニーズが有ることは、このような取組が一室で進めてゆくものではないことを痛感した。また、学びの成果発表という視点に立ったとき、今回の事業実施を通じて学びの主体はどこが担当のか、その成果はどのようなかたちで地域に還元されるのかは必ずしも公民館だけに特化するものではないことを地域まちづくり協議会や関係団体などと共有する必要がある。</p>
	【改善の方向性】	<p>これまで、生涯学習フェスティバルは、公民館講座受講生の発表の場として開催してきたが、「学びの主体」の考え方や各コミュニティでの文化祭などが受け皿となりえることが考えられることから、従来の一元的な生涯学習フェスティバルは廃止し、必要に応じてテーマ性を持たせて開催するものとする。あわせて、公民館講座の内容等や市が進める施策等の内容に応じて、コミュニティの文化祭など、それぞれに適した発表の場で成果発表を行う形にシフトするよう地域連携を深めてゆく。</p>

事業目的の妥当性:	適切	有効性:	適切	最終評価確認者:	生涯学習室長 亀山 隆
-----------	----	------	----	----------	-------------